

千葉市議会議員(稲毛区選出)

小松崎
ふみよし

政策ジャーナル

Vol.142

KOMATSUZAKI



メガソーラーについて

〔1〕事業者がFIT等の認定を受けるための仕組みは ※FIT(固定価格買取制度)

【答弁】事業者は周辺住民へ説明会等十分な周知を行い、国から事業計画が認定され、電力供給開始後には国へ定期報告が義務付けられている。

【意見】国に事業を管理・監視する義務があることは理解した。



〔2〕認定後の国による太陽光発電設備の実態把握について

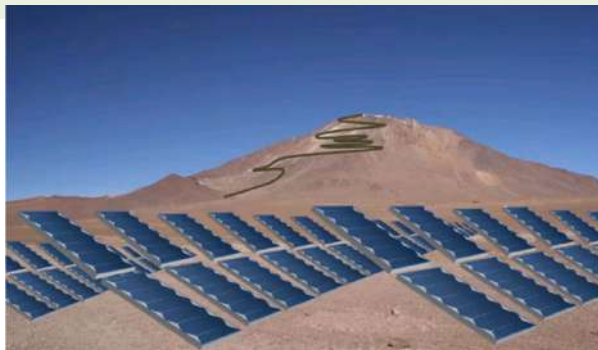
【答弁】国は計画と関係法令の遵守状況を確認し、必要に応じ外観調査や立入調査を行い、違反があれば、改善命令等が発出される。

【意見】国は稼働を確認し、市はその情報を速やかに共有することで、不適正な事業の早期防止に繋がる。

〔3〕太陽光パネルの撤去について

【答弁】令和4年の改正再エネ特措法施行で管理が不全な太陽光発電設備の解体などに必要な費用を、電力安定供給等を担う。

「電力広域的運営推進機関」に積み立ての義務が課され当該積立金を活用し撤去する事が可能となった。



チリ、アタカマ砂漠の太陽光発電設備

【コラム】海外では砂漠の緑化に寄与したり、チリの太陽光発電(PV)設備容量は2013年時点では0.1%にも満たなかったのに対し、2024年には国内電力全体の22.3%を占めるまでに成長しています。

一方釧路湿原は日本初のラムサール条約に登録された国内最大の湿原、また鴨川市丘陵地でもメガソーラーの開発が進んでおり、自然環境破壊、災害リスク増大が懸念されている。民主党政権下の2011年「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」により拙速なメガソーラーの開発が進んだが、政権奪還後の自民党の無策も反省が必要、認定方法やFITの法改正をすべきです。

【意見】太陽光発電は、税制上有利で環境に優しく、一般に耐用年数は25年とされますが、メーカーによっては30年後でも出力の約87%を保証しており、長期的な安定運用が可能です。かつて日本は太陽光発電の最先進国として世界をリードしていたが、現在の国内発電割合は約10%に留まっています。近年では平地不足や、天候不安定等の理由で導入は伸び悩んでおり、電力自由化以降、再生可能エネルギー事業者の撤退や倒産が全国的に相次いでいます。安定的かつ持続可能な再生可能エネルギーの供給体制をいかに確立するかが大きな課題となっています。

この為、FIT制度に基づき設備の解体費用を「電力広域的運営推進機関」に積み立てる仕組みが整備され、千葉市内全ての事業者は当該積立にに応じていますが、まだ積み立てが始まっていない事業者は一部存在します。また世界的にみると太陽光パネルの製造は特定国に偏っており、その影響で2030年代以降に使用済みパネルの大量廃棄が懸念材料です。太陽光パネルのリサイクル義務化法案提出を国が見送ったことも問題点です。稼働の確認が出来ていないメガソーラーを確認する手段を国が構築して、千葉市も確認をサポートし、不適正な事業者が設備を放置する前に速やかに撤去させるべき。新規のメガソーラー事業は発電効率が良く、周辺地域に悪影響を与えない場合に限り認定すべきで、重要な自然環境を破壊せず、土砂災害を誘発しないことが求められます。営農型の太陽光発電は収益も見込め、耕作放棄地や近年増加する相続放棄地の活用にもつながり、雑草の繁茂を放置せずに済む。さらに集合住宅における太陽光発電の導入は、戸建て住宅に向け補助金制度に比べ進んでおらず、分譲・賃貸マンションの居住者にも恩恵が及ぶ設置助成等の政策を今後一層推進する必要があります。



ー鴨川市丘陵地ー
36万5千本伐採し、パネルを47万枚設置。森林を新たに切り開き、山と谷を大規模に改変するメガソーラーは、国内で他に類を見ない。まさに本末転倒な再生可能エネルギーの見本と言えるでしょう。

■お問い合わせ、ご意見をお待ちしております■ (毎週水曜日13半~16時事務所開設、8月・年末年始は不在)

職歴

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒園(評議員)
千葉市立山王小・横橋中学校
千葉県立千葉北高等学校卒業
(同窓会副会長)
法政大学法学部法律学科卒業
(校友会千葉中央支部常任幹事)

略歴

衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書、事務所責任者を歴任
千葉市議会議員/5期当選
(自民党稲毛区選出)
千葉市議会議長(2年間)
関東市議会議長会監事

現在

自由民主党千葉市連合支部稲毛区支部長
千葉市社会福祉協議会山王地区部会長
37地区自治会連顧問(山王中地区)
千葉市アーチェリー協会会長
千葉市早朝野球連盟副会長
千葉市グランドゴルフ協会名誉会長

千葉県美容業組合千葉支部顧問
千葉市内陸企業連合会顧問
千葉市少年軟式野球協会顧問
千葉市ソフトボール協会顧問
千葉市テニス協会顧問
社会福祉法人愛の園評議員



ホームページ
2344.jp

●市長のマニフェスト・・・新たなモビリティ等を活用し、高齢者移動手段の確保について●

《1》 実証実験を行う基準は？

【答弁】デマンド型交通は路線バス廃止等に起因する公共交通不便地域から、地域要望や人口密度、高齢化率を踏まえ対象地区を選定。グリーンスローモビリティは、公共交通へのアクセスが困難な地区や地域の回遊性向上を要する地域が主体的に取組むことを条件に、公募を経て対象を選定。



【意見】実施の知見を踏まえ、バス事業者と相談し、要望地域に前向きに対応してほしい。

《2》 既に行われている実証実験の成果と問題点は？

【答弁】デマンド型交通の緑区高津戸町は来年1月以降本格運行へ。平山町地区は11月頃社会実験開始。タクシー営業所が少なく運行事業者の確保や、地域の積極的な利用での持続性が課題。グリーンスローモビリティは桜木地区で令和6年5月に本格運行に移行。実証調査中の若葉区都賀の台地区、美浜区幕張ベイタウン地区も、定期的運行により地域の身近な移動手段に成長。住民ボランティアによる運営が条件の為、継続的な運行の人材確保が課題。

【意見】デマンド型交通はタクシー事業者自体が不足。タクシーアプリ啓蒙や実装支援も重要。グリーンスローモビリティは運賃を取れない。寄付だけで数十万円を集めるのは、困難だが管理には必要。継続的な運行には、私の持論である、送迎バス活用も同様だが、既存バス路線と被らない区間は、国に対し運賃が徴取できるように要望すべき。

●市長のマニフェスト・・・地域活動の担い手確保支援●

《1》 地域活動の担い手確保支援はどのように考えているのか？



9月3日付ABCニュース記事で、兵庫県の自治会では「入会金は12万円」と説明され。「法外な金額」「参加できない」と考え、入会を断ると、町内会の役員が「町内会に入らないのであればゴミは出せない。広報紙も配りません」とあった。結果、ゴミを出せなくなり、通勤途中にある実家にゴミを持って行って捨てていました。藤沢市湘南台2丁目南自治会は、特別会員という制度で、通常の年会費は2000円の処、倍の4000円を支払うことで自治会の役員や組長が免除されるという制度の紹介もしていました。別の10月の報道で富山市の自治会が「市の下請けではない」と空き家実態把握調査への協力を断ったと有り、対岸の火事ではないと感じます。

【答弁】町内自治会では、地域課題多様化や加入率の減少などで負担が増大し、担い手不足が深刻化していると認識。地域課題解決に向けNPO団体等と連携、事務の効率化に向けデジタルツールの紹介や本市から町内自治会へ依頼の事務や手続き方法を見直す。業務の棚卸しを行い、町内自治会の負担軽減を図るため、担い手確保の支援に取り組む。

【意見】連絡手段にデジタルツール活用は有益。但し、乗っ取り等問題もあるので、セキュリティを強化した千葉市立学校の「スグール」のようなツールの活用や、無料でセキュリティが高い物を推奨し実装支援すべき。上記入会金12万円やゴミ出し禁止は極端な例だが、最低限の防犯街灯やゴミステーション設置・管理費を入居者に求めることは、管理者や清掃者の負担を考えても必要。自治会に依頼する事項の棚卸しは速やかに実施すべき。提携するNPO法人は成り立ち・構成員・商行為に精査が必要。

《2》 自治会費の集金事務効率化としてコンビニ徴収・口座振替等を支援する考えはないのか。

【答弁】自治会費集金事務効率化の為、キャッシュレス決済や口座振替を検討する町内自治会もあるが、手数料が課題。本市も町内自治会の事務負担軽減は重要と考え、先事例を見て安全で利便性が高い方法を町内自治会へ情報提供する。

【意見】QRコード決済では現在初期費用は無料だが、振込者は確認しづらい、将来の利便性向上に期待。可能になれば、千葉市が会費徴収のDX化として助成して、銀行口座間振込でも残る方だけを現金集金すれば良い。

各銀行の振込手数料について (ATMでキャッシュカードを使用した場合)				
	銀行名	同じ支店宛	別の支店宛	他の銀行宛
地方銀行	千葉銀行	無料	110円	330円
	京葉銀行	無料	無料	440円
	千葉興業銀行	無料	無料	440円
都市銀行	三菱UFJ銀行	110円	110円	275円
	三井住友銀行	無料	無料	165円
	みずほ銀行	220円	220円	270円
信用金庫	千葉信用金庫	無料	110円	330円
ゆうちょ	ゆうちょ銀行	100円	100円	220円
QR決済	各社	初期費用無料、手数料2% — 確認に難点		

《3》 自治会役員に年齢等の制約はあるのか？

【答弁】年齢等に関わらず、総会等で承認されれば、役員に就任できるものと認識しています。



【意見】若葉区桜木町では、女子高校生が自らの意思で自治会役員を務めているそうです。敬老会では小さな子ども達を伴いビンゴゲームを担当し、地域のフェスティバルでは中心的な役割を担うなど、積極的に活動しています。しかも、彼女で二代目とのこと。真摯に自治会を支える担い手たちは、会費の徴収やゴミステーションの管理、防犯街灯や避難所の運営など、多くの労力や時間、費用を費やしています。

しかし自治会加入有無にかかわらず市民サービスは平等に提供されており、その不公平感を訴える声は大いに理解できます。また、この状況を放置すれば、自治会衰退が更に進む恐れがあります。自治会の維持は、市民の声を聴取し行政情報を周知する上で極めて重要です。近年では近隣に通学する中学生も防災や地域活動の担い手として注目されています。毎年秋に山王中学校ではスポーツ行事が行われていたが、コロナ禍で中止になり、昨年は「防災クッキング」として、保護者や生徒、地域団体役員が協力し、鍋を使わないカレーを作る取り組みを実施し、「スグール」を活用した呼びかけで多くの参加者が集まりました。今後は高校生や中学生等若い世代も地域の新たな担い手として積極的に育成・顕彰すべきです。

この他に新海浜病院駐車場の荒天時濡れない・感染対策の来院者導線や、バス路線対応も要望しました。